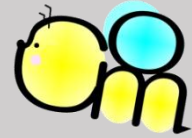


質問紙調査の結果



「全国学力・学習状況調査」では、教科に関する調査と共に、生活習慣や学習環境に関する質問紙調査も行っています。

質問紙調査には、【児童生徒質問紙】による調査と【学校質問紙】による調査があります。

【児童生徒質問紙】児童生徒を対象にした、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面などに関する調査

【学校質問紙】学校を対象にした、指導方法に関する取組や人的・物的教育条件の整備の状況などに関する調査

質問紙調査の結果分析を踏まえ、学校、保護者、地域（市民）が連携して、学力向上をはじめ、生きる力の育成に向けた取組を進めることが大切です。

授業づくりの考え方

～思考力・判断力・表現力を育むために～

P23

生活習慣づくり

～規則正しい生活をしましょう～

P29

学習習慣づくり

～家庭学習を計画的にしましょう～

P31

自尊感情・規範意識

～豊かな心を育てましょう～

P33

地域・社会とのつながり

～つながりを大切にしましょう～

P35

教育課程の取組

～組織でめざす学力向上～

P37

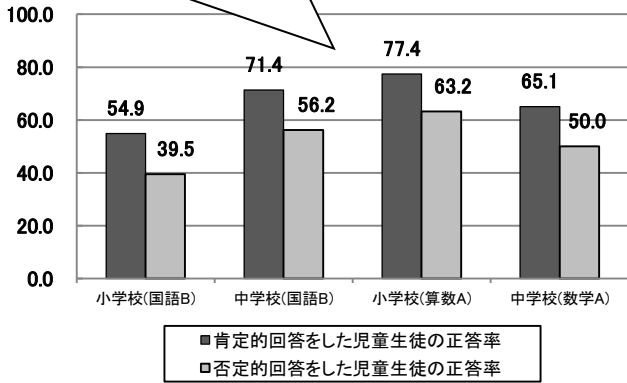
まなび
考え、表現する学bee

児 児童質問紙 **生** 生徒質問紙 **学** 学校質問紙

—正答率との相関関係—

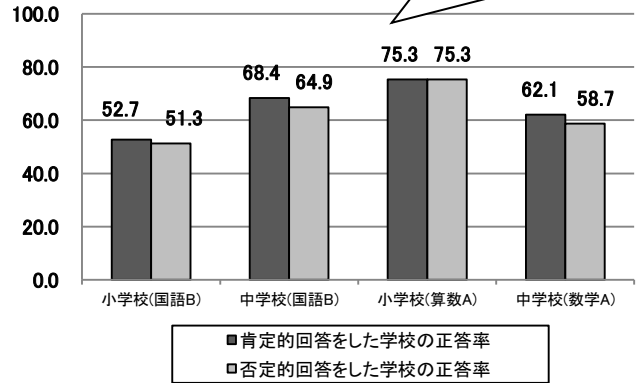
児 次の項目に肯定的に回答している児童生徒の方が、正答率が高い傾向にあります。

生 自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか



学 次の項目に肯定的に回答している学校の方が、正答率がやや高い傾向にあります。

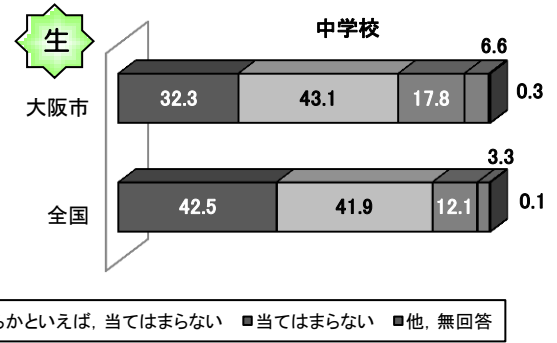
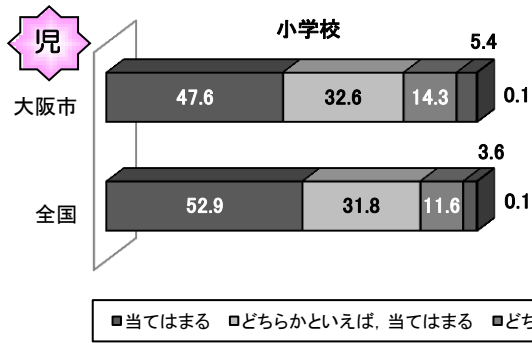
様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか



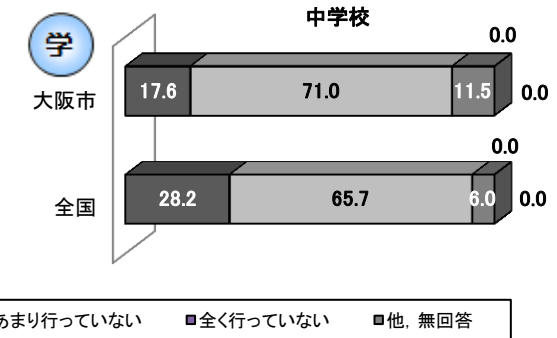
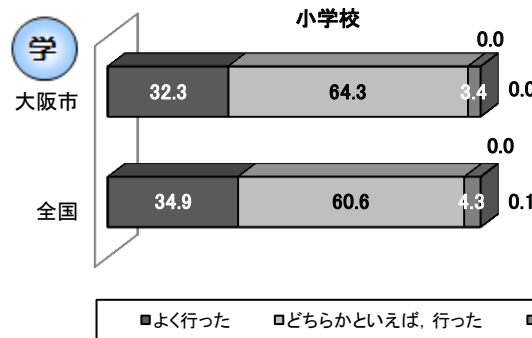
—全国との比較—

「自分の考えを発表する機会が与えられていた」に否定的に回答している児童生徒が2割程度存在しています。一方で、「様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をした」について、肯定的な回答をした学校の割合は、小学校では9割以上、中学校では9割弱で、小学校では全国を上回っています。全ての児童生徒が自分の考えを形成したり、思考を深めたりできるような発問や指導が求められます。

自分の考えを
発表する機会
が与えられて
いたと思いま
すか



様々な考えを
引き出したり、
思考を深めたり
するような
発問や指導を
しましたか

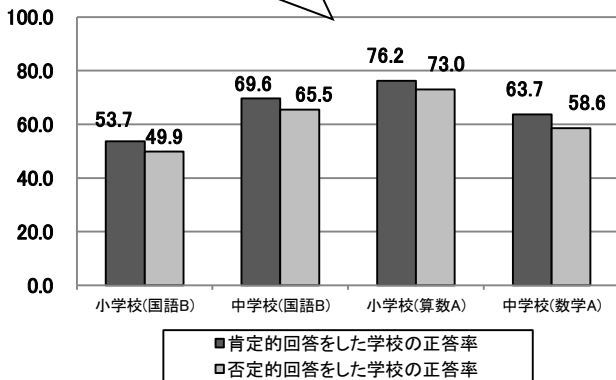


－正答率との相関関係－

「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している」について、肯定的な回答をした学校や児童生徒の方が、平均正答率が高い傾向にあります。

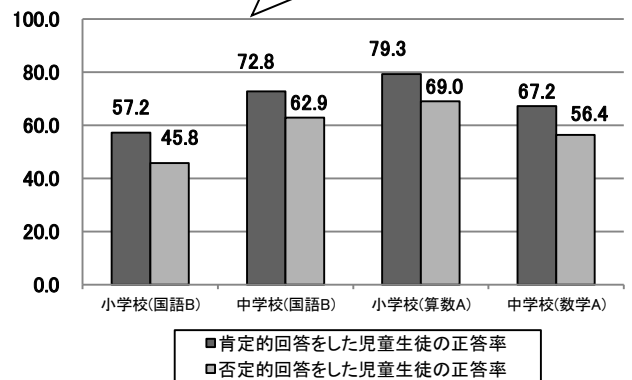
学

自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか



自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか

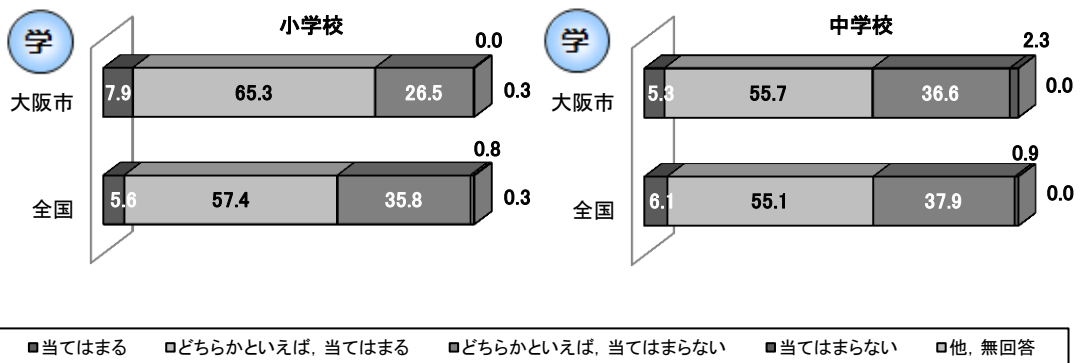
児 生



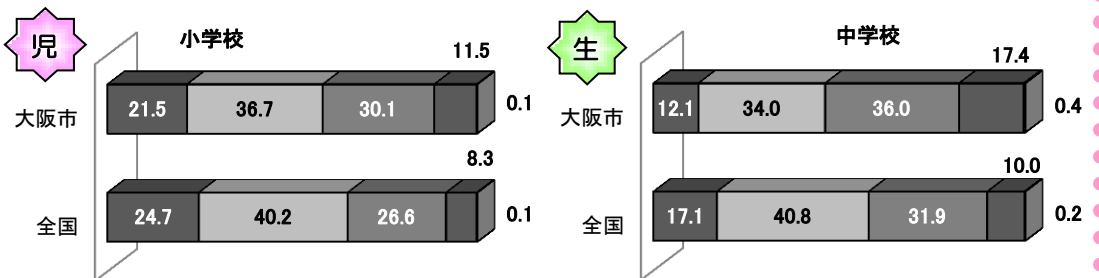
－全国との比較－

「自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができている」について、肯定的な回答をしている小学校は全国を上回っており、中学校では全国とほぼ同じです。しかしながら、同趣旨の児童生徒への質問で肯定的な回答をしている児童生徒が5割程度となっており、全ての児童生徒が自らの考えを広め深める対話的な学びを行っていると感じられる指導が求められます。

自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか



自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか

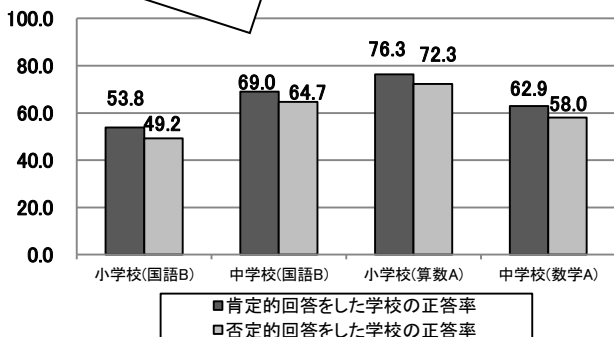


－正答率との相関関係－

「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」について、肯定的な回答をした学校や児童生徒の方が、平均正答率が高い傾向にあります。

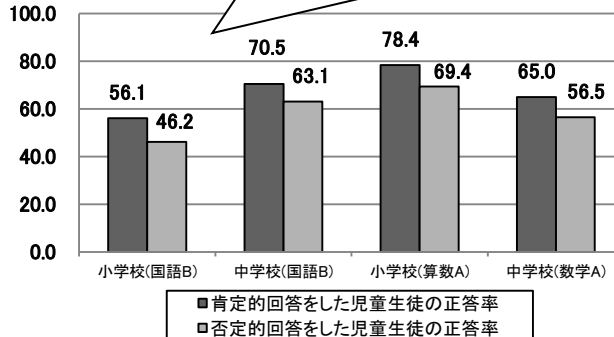
学

学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか



学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか

児 生

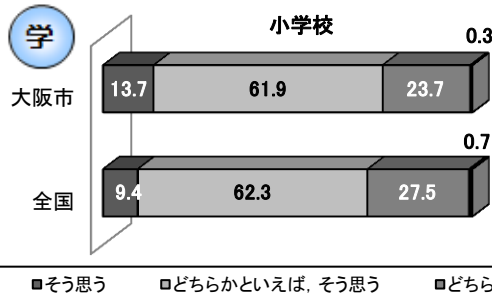


－全国との比較－

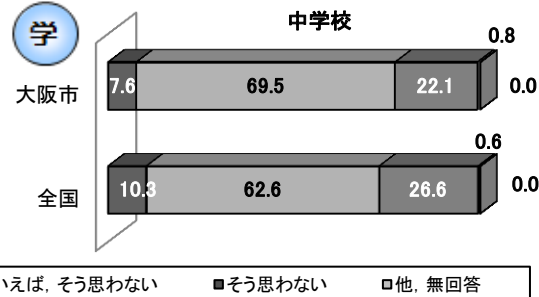
「学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」について、肯定的な回答をしている学校は全国を上回っています。しかしながら、同趣旨の児童生徒への質問で肯定的な回答をしている児童が6割程度、生徒が4割程度となっており、全ての児童生徒が自らの考えを広め深める対話的な学びを行っていると感じられる指導が求められます。

学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか

学

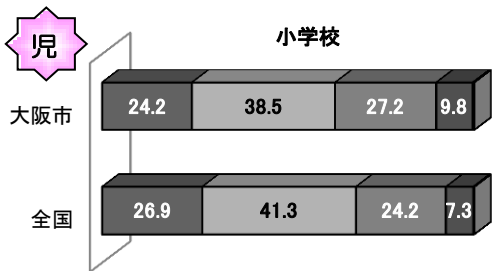


学

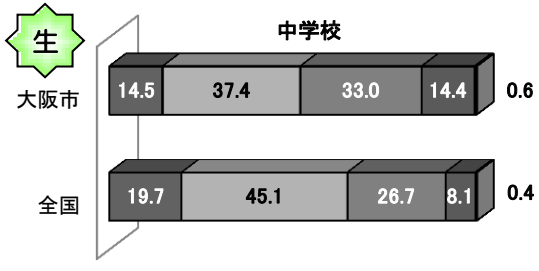


学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか

児



生



－経年の比較－

「学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか」について、肯定的な回答をした学校の割合は、小学校では全国と同じで、中学校では昨年度と比べやや増加しています。

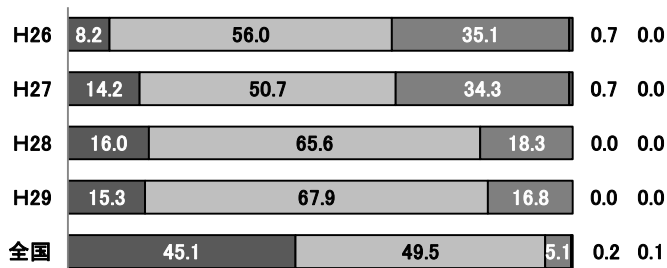
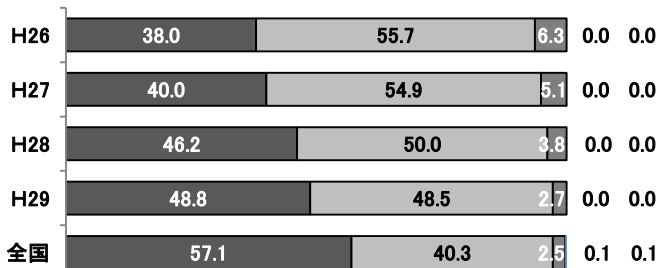
小学校

学

話し合う活動を授業などで行いましたか

学

中学校

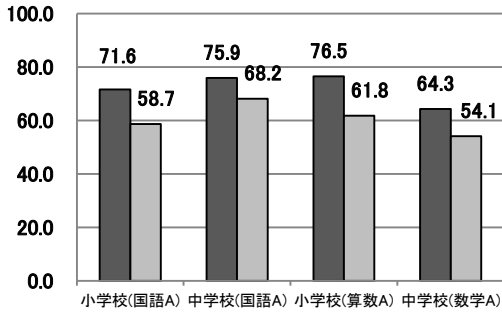


－正答率との相関関係－

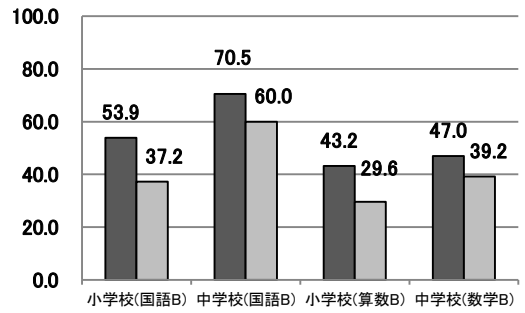


次の項目に肯定的に回答している児童生徒の方が、正答率が高い傾向にあります。

授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか



■肯定的回答をした児童生徒の正答率
□否定的回答をした児童生徒の正答率

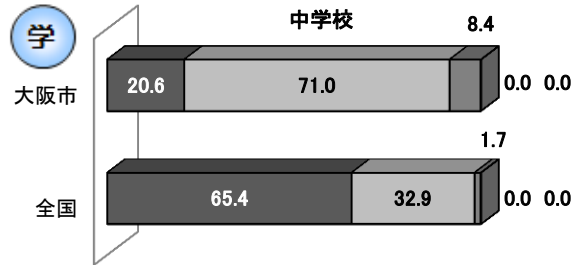
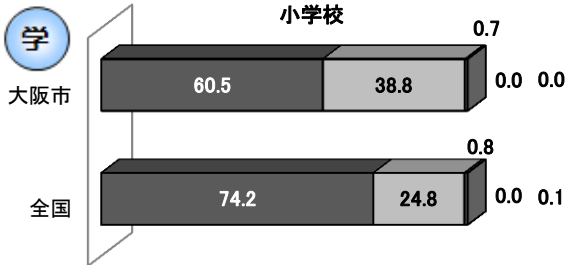


－全国との比較－

「授業の中で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れ了吗か」について、肯定的に回答した学校の割合は9割を超えており、小学校では全国を上回っています。

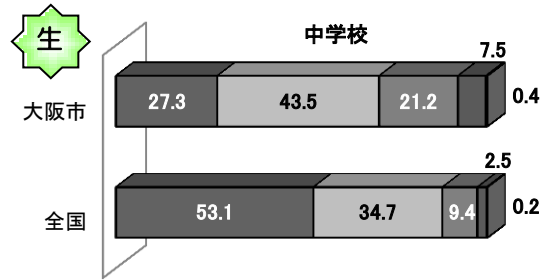
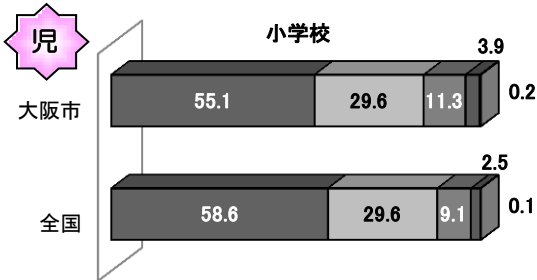
同趣旨の児童生徒への質問で肯定的に回答した児童の割合は8割を超えており、生徒の割合は7割を超えています。しかしながら、全ての学校で目標（めあて・ねらい）が示され、全ての児童生徒がそれらを示されていたと感じられる指導が、小学校と中学校で一貫して求められます。

授業の中で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れ了吗か



■当てはまる □どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない □他、無回答

授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか

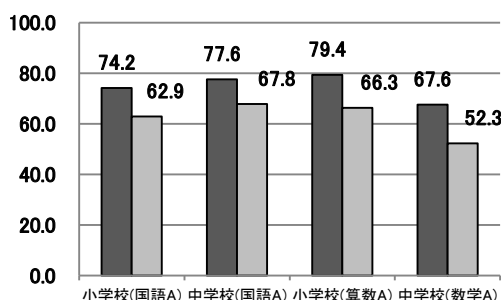


－正答率との相関関係－

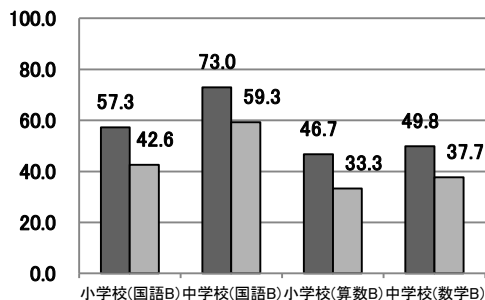


次の項目に肯定的に回答している児童生徒の方が、正答率が高い傾向にあります。

先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか



■ 肯定的回答をした児童生徒の正答率
□ 否定的回答をした児童生徒の正答率



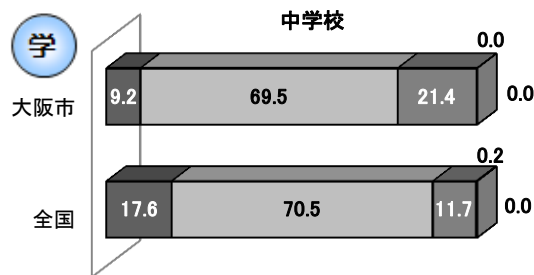
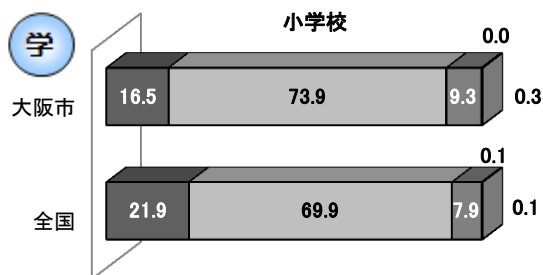
－全国との比較－

「自らが設定する課題や教員から設定される課題を理解して授業に取り組むことができている」について、肯定的な回答をした学校の割合は、小学校では9割以上、中学校では8割弱となっています。

一方で、同趣旨の「先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思う」について、児童生徒への質問では、否定的な回答をしている児童生徒が3割程度存在しています。

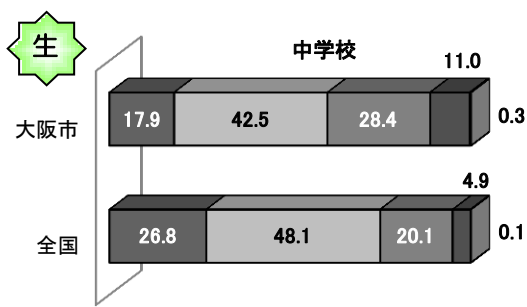
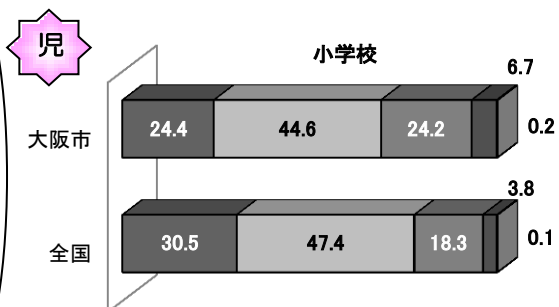
全ての児童生徒がめあてをもって主体的に取り組んでいると感じられる授業が求められます。

自らが設定する課題や教員から設定される課題を理解して授業に取り組むことができていると思いますか



■ 当てはまる □ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない □ 他、無回答

先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか



大阪市の授業のスタンダード「3つの学bee」

大阪市教育委員会は、「大阪市の考える良い授業」＝「大阪市の授業のスタンダード」＝「3つの学bee」を提示しています。日々の授業に、「3つの学bee」を取り入れ、一人一人の子どもを大切に授業実践で、子どもたちの思考力・判断力・表現力を育てます！



考え、表現する学bee

- ・子どもが、自分の考えを書く、話すなどの方法で表現する授業を行います。
- ・様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や支援を行います。



話し合う学bee

- ・ペアやグループなどの学習形態を工夫して、話し合いを通して自分の考えを広げ深める機会を増やします。
- ・活発な発言ができるように、授業では話し合いの観点を明確に示します。



めあてを振り返る学bee

- ・授業のはじめには、「～を考えよう」「～ができるようになる」など、その時間の子どもの「めあて」を黒板やノートに示します。
- ・子どもが興味関心を持ち、見通しをもって主体的に学習に取り組むよう、問題解決的な学習を行います。
- ・授業の終わりには、「～が分かった」、「～ができるようになった」と、できる限り子どもの意見を反映した言葉を使ってまとめ、振り返り、次の学習につなげます。

- ・1日の出来事を振り返り、その内容や様子、その時の気持ちなどを簡単な文章にして書きとめることで、考えを表現するための語彙が増え、表現力が身に付きます。
- ・子どもが何気なく話した内容や興味関心のある話題に対して、「どうしてそう思うの」や「もう少し詳しく教えて」など、質問や投げかけをすることで話の内容を広げたり、深めたりするような声かけをしましょう。子どもが考えをまとめ、深く考えるきっかけになります。
- ・子どもとの会話の中で、子どもが少し考えながら「わからん」や「びみょう」などの言葉を使う時があります。その時には、何が分からないのか、何をどう思っているのかを少し踏み込んで聞いてみましょう。自分の考えを人に伝えるため、適切な言葉を考えたり、選んだりするきっかけになります。

効果があった取組例

- ・全教科において、課題意識をもたせるとともに、板書の構成を考えたノート指導を行っています。
- ・自分の考えを表現するために、タブレット端末を使って、話し合う活動を行っています。
- ・全教科で授業の最初に、「めあて」を提示することで、学習の見通しがもてるようにしています。